

対象候補事業場名簿（北海道）局

その1

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(1)ーイ	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（北海道）局

その2

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(2)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)。

対象候補事業場名簿（北海道）局

その3

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
予			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーイ	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーイ	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(2)ーイ	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（北海道）局

その4

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(4)	
			安全・RA・衛生	(1)	
			安全・RA・衛生	(1)	
			安全・RA・衛生	(1)	
[]	Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

別紙 1

平成 1 7 年度
労働災害防止特別安全衛生診断事業
対象候補事業場名簿（青森局）

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数	区 分	
			安全・ 労働衛生の別	該当する基準
			RA	記の第 1 の 2 の (1)
			安全	記の第 1 の 1 の (1) ア
			安全	記の第 1 の 1 の (1) のア
			RA	記の第 1 の 2 の (2)
			安全	記の第 1 の 1 の (1) イ
			衛生	記の第 1 の 3 の (4)
			安全	記の第 1 の 1 の (2) ア

	姓	記の第1の1の(1)のア
	姓	記の第1の1の(1)イ

別紙1

対象候補事業場名簿

(岩手)局

事業場名 〔業種名 (中分類)〕	所在地	労働者 数 (概数)	区 分		診断にあたって特に 留意すべき事項
			安全・RA・ 衛生の別	該当する 基準	
			安全	(1)のイ	食品加工機械による切れ・巻き込まれ災害が多発している
			安全	(1)のア	狭隘な工場敷地でのフォークリフト作業がある
			安全	(1)のイ	派遣労働者との混在作業及び過去に紛じん爆発がある
			安全	(5)	手工具、食料品加工機械の災害が平成15年から毎年発生している
			安全	(1)のイ	他に一閑工場があり、いずれも災害多発傾向にある
			安全	(1)のア	食品加工機械による切れ・巻き込まれ災害が多発している
			安全	(1)のイ	手工具等の災害が毎年発生している

注1:「安全・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2:「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。(記入例:安全診断の場合 (1)ーア等)

注3:「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（宮城）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	第1の2の(2)	機械による災害が発生しており、当面の対策は取られているが、リスクアセスメントの実施が必要と考えられるもの。
			<u>安全</u> ・RA・衛生	第1の1のア	崩壊・倒壊災害が多発している。
			<u>安全</u> ・RA・衛生	第1の1のア	同種機械による災害が多発している。
			<u>安全</u> ・RA・衛生	第1の1のア	交通事故以外にも荷役作業中の災害が多発している。
			<u>安全</u> ・RA・衛生	第1の1のア	食品加工用機械等による災害が多発している。
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	第1の2の(2)	プレス災害が発生しており、リスクアセスメントの実施が効果的と思われる。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（宮城）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	第1α1α(4)	平成12年度 特別安全診断を実施したが、 その後も災害が多発している。
			安全・RA・衛生	第1α1αア	食品加工用機械による災害が発生している。
			安全・RA・衛生	第1α3α(4)	平成16年度に構内下請の労働者が有機溶 剤中毒を発症している。
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (秋 田)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1(1)ア	(参考)16年2件、17年2件発生
			安全・RA・衛生	1(1)ア	(参考)16年1件、17年3件発生
			安全・RA・衛生	1(2)	(参考)16年3件、17年1件発生
			安全・RA・衛生	1(3)	(参考)16年死亡災害発生
			安全・RA・衛生	1(1)ア	(参考)16年製材業2件、林業1件発生
			安全・RA・衛生	1(1)ア	(参考)16年3件発生

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (秋 田)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・ <u>衛生</u>	3(4)	
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（山形）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全 (RA) 衛生	(1)-ウ 2-(1)	平成17年度安全管理特別指導事業場
			安全・RA (衛生)	3-(3)	平成17年度衛生管理特別指導事業場
			(安全) RA・衛生	(1)-ア	平成16年死亡災害発生事業場
			(安全) RA・衛生	(1)-イ	
			(安全) RA・衛生	(1)-ア	木材加工用機械による災害の他、建設業も行っており墜落災害も発生しているもの
			(安全) RA・衛生	(1)-ア	平成14年から毎年休業4日以上災害が発生しており、平成16年度から安全管理特別指導事業場に指定しているもの
			(安全) RA・衛生	(1)-イ	

注1:「安全・労働衛生の別」の欄には、安全・衛生のいずれかに○をつけること。

注2:「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、
(2)のア、イ、ウ、(3)(4)(5)のいずれか、また、労働衛生診断
の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3:「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、
事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿(福島) 局

事業場名 [業種名 (中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		
			安全・ＲＡ・ 労働衛生の別	該当す る基準	診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・ＲＡ・ 衛生	1-(1)-ア	特になし
			安全・ＲＡ・ 衛生	3- (4)	平成16年の鉛健康診断で受診者218人のうち分布2、100人、分布3、1人となっている。
			安全・ＲＡ・ 衛生	1-(1)-イ	木工機械使用にあたり、多様な材料を行なうため、安全措置が不十分になったり、作業方法が不適切になることがあり、災害発生の危険がある。
			安全・ＲＡ・ 衛生	1-(1)-ア	設備の安全化について、法律で規定されていない部分や作業方法の指導を願いたい。また、騒音対策についてのアドバイスも願いたい。
			安全・ＲＡ・ 衛生	1-(1)-イ	木材加工用機械による指の切断の災害が発生しているため、機械等の管理及び作業方法の徹底が不十分と思われる。
			安全・ＲＡ・ 衛生	1-(1)-ア	平成17年3月に構内下請の労働者がプレスブレーキにより左手を切断、プレスブレーキの安全対策の必要あり。
			安全・ＲＡ・ 衛生	1-(1)-イ	災害多発事業場である。
			安全・ＲＡ・ 衛生	1-(2)-イ	平成17年1月に伐木作業において死亡災害発生

注1： 「安全・労働衛生の別」の欄には、安全・衛生のいずれかに○をつけること。

注2： 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、ＲＡ診断の場合には、記の第1の2の(1)(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例：安全診断の場合(1)-ア等)

注3： 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例：「食品加工機械による、切れ、こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトの爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 茨 城 ） 局

事業場名 [業種名（中分類）]	所在地	労働者数 （概数）	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1－（１）－ア	災害多発 （平成１２年以降、休業４日以上８件） ※食品加工用機械によるはさまれ・通路での転倒及び手工具による切れ災害など
			安全・RA・衛生	1－（１）－イ	災害多発 （平成１２年以降、休業４日以上７件） ※食品加工用機械によるはさまれ・はしご等からの転倒及び火傷など
			安全・RA・衛生	2－（１）	安全管理指定事業場であって、リスクアセスメントの実施を希望
			安全・RA・衛生	1－（１）－イ	過去に安全管理指定事業場であって、平成１６年に休業４日以上災害が２件発生 ※フォークリフトによるはさまれ及び動力機械によるはさまれ

注１：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注２：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第１の１の（１）のア、イ、ウ、（２）のア、イ、ウ、（３）、（４）、（５）のいずれか、RA診断の場合には、記の第１の２の（１）、（２）のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第１の３の（１）～（４）のいずれかを記入すること。（記入例：安全診断の場合（１）－ア等）

注３：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

（記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿（ 茨 城 ） 局

事業場名 [業種名（中分類）]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・R A・衛生の別	該当する基準	
			☒ 安全・R A・衛生	1－(4)	平成15年度に安全診断を実施しているが、再度、安全管理の状況を確認する必要がある。
			安全・R A・ ☒ 衛生	3－(4)	有機溶剤の作業環境測定の結果、第3管理区分の単位作業場がある。
			☒ 安全・R A・衛生	1－(1)－ア	コンクリート製品の脱型作業時等型枠（鉄製）取扱い時の災害が多発
			☒ 安全・R A・衛生	1－(1)－ア	プレス機械取扱い時の災害及び災害性の腰痛などが発生

注1：「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全・R A・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、R A診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。（記入例：安全診断の場合(1)－ア等）

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

（記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿（ 茨 城 ） 局

事業場名 [業種名（中分類）]	所在地	労働者数 （概数）	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			☒ 安全・RA・衛生	1－（１）－ア	金属加工用機械によるはさまれ・巻き込まれ災害多発及び重量物の取扱いの指導が必要
			☒ 安全・RA・衛生	1－（１）－ア	休業４日以上の災害を発生させ、安全管理上問題がある
			☒ 安全・RA・衛生	1－（３）	外国人労働者に係る労働災害を発生させ、安全管理上問題がある
			☒ 安全・RA・衛生	1－（５）	構内下請労働者が１００人以上おり、その下請において死亡災害の他、災害が多発

注１：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注２：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第１の１の（１）のア、イ、ウ、（２）のア、イ、ウ、（３）、（４）、（５）のいずれか、RA診断の場合には、記の第１の２の（１）、（２）のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第１の３の（１）～（４）のいずれかを記入すること。（記入例：安全診断の場合（１）－ア等）

注３：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

（記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿（ 茨 城 ） 局

事業場名 [業種名（中分類）]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1－(1)－ア	平成15年から休業2ヶ月以上の災害が多発 ※機械によるはさまれ・巻き込まれ及び人力運搬機に激突される災害がほとんど
			安全・RA・衛生	1－(1)－ア	キャデイーのつまづき、転倒災害が多発
			安全・RA・衛生	2－(1)	機械設備には安全装置等が設けられているがリスクアセスメントを行っていないため、休業災害が多発している
			安全・RA・衛生		

注1：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。(記入例：安全診断の場合(1)－ア等)

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿(栃木)局

事業場名 〔業種名(中分類)〕	所在地	労働者数 (概要)	区 分	
			安全・RA・衛生 の別	該当する基準
			安全	1-1-(1)
			衛生	1-3-(1)
			RA	1-2-(1)
			安全	1-1-(1)
			安全	1-1-(2)
			安全	1-1-(1)
			安全	1-1-(1)
			安全	1-1-(1)

注1: 「安全・労働衛生の別」の欄には、安全、衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の1の1-1の(1)のイ、ロ、ハ、(2)のイ、ロ、ハ、(3)、(4)、(5)、のイ、ロ、ハ、又は(6)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の1の1-2の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

別紙1

対象候補事業場名簿(栃木)局

事業場名 〔業種名(中分類)〕	所在地	労働者数 (概要)	区 分	
			安全・RA・衛生 の別	該当する基準
			安全	1-1-(1)
			安全	1-1-(3)

注1: 「安全・労働衛生の別」の欄には、安全、衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の1の1-1の(1)のイ、ロ、ハ、(2)のイ、ロ、ハ、(3)、(4)、(5)、のイ、ロ、ハ、又は(6)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の1の1-2の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

（群馬労働局）

事業場名 [業種名（中分類）]	所在地	労働者数 （概数）	区 分	
			安全・労働衛生の別	該当する基準
			安全	1－(4)
			安全	1－(1)－ア
			安全	1－(1)－ア
			衛生	3－(4)
			安全	1－(1)－ア
			安全	1－(1)－ア
			安全	1－(3)
			安全	1－(1)－ア
			RA	2－(1)
			安全	1－(3)
			安全	1－(1)－ア
			安全	1－(1)－ア
			安全	1－(1)－イ
			安全	1－(1)－ア

対象候補事業場名簿 (埼玉)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全、RA、衛生	第1 1-(1)-イ	
			安全、RA、衛生	同上	
			安全、RA、衛生	同上	
			安全、RA、衛生	第1 1-(3)	
			安全、RA、衛生	第1 2-(1)	
			安全、RA、衛生	第1 1-(3)	H17年度に集団指導実施済。 労働安全マネジメントシステムを検討中。 H17.6に指の切断事故あり

対象候補事業場名簿(埼玉)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			①安全、RA、衛生	第1 1-(3)外国人	夜間作業で外国人労働者を使用している
			①安全、RA、衛生	第1 1-(3)	
			①安全、RA、衛生	第1 1-(1)-ア	
			①安全、RA、衛生	第1 1-(1)-ア	
			①安全、RA、衛生	第1 1-(3)	
			①安全、RA、衛生	第1 1-(1)-ア	

対象候補事業場名簿(埼玉)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全、RA、衛生	第1 1-(3)	
			安全、RA、衛生	第1 1-(1)-ア	
			安全、RA、衛生	第1 1-(1)-ア	
			安全、RA、衛生	第1 3-(4)	
			安全、RA、衛生	第1 1-(1)-ア	平成16年にガラスを運搬中に台車が転倒し運搬していたガラスの下敷きとなる死亡災害が発生している。
			安全、RA、衛生	第1 1-(1)-ア	平成16年に2件の休業災害が発生しておりその内1件がロール機に左手を巻き込まれる重篤な災害が発生している。

対象候補事業場名簿(埼玉)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全、RA、衛生	第1 1-(5)	機械自体がかなり古いこと、付け焼き刃的な対応で安全衛生対策が不十分。派遣として元従業員の高年齢者を受け入れているが、特に高年齢者対策を行っていない。
			安全、RA、衛生	第1 1-(1)-ア	平成16年に2件の休業災害が発生しておりその内1件がロール機に左手を巻き込まれる重篤な災害が発生している。

注1:「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA衛生のいずれかに○をつけること。

注2:「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)ア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)

注3:「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

対象候補事業場名簿（千葉）局

No. 1

事業場名 「業種名（中分類）」	所在地	労働者数 （概数）	区 分		診断に当たって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	（2）－ア	金属加工用機械にはさまれる災害が2件発生した。
			安全・RA・衛生	（1）－ア	フォークリフトによる災害が発生した。
			安全・RA・衛生	（5）	プレス災害が数件発生し、災害防止対策について相談があった。
			安全・RA・衛生	（1）－イ	過去安特に指定、その後も災害が多発している。
			安全・RA・衛生	（5）	平成16年度災害が4件発生
			安全・RA・衛生	（1）－ア	機械設備によるはさまれ災害が多発している。
			安全・RA・衛生	（1）－ア	金属加工用機械による災害が多発している。

対象候補事業場名簿（千葉）局

No. 2

事業場名 「業種名（中分類）」	所在地	労働者数 （概数）	区 分		診断に当たって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(1) -ア	過去4年間で7人の休業災害が発生している。
			安全・RA・衛生	(1) -ア	平成16年度はさまれ災害発生 また騒音問題事業場
			安全・RA・衛生	(1) -イ	過去に安特指定したが、その後、食品加工用機械による巻き込まれ災害多発
			安全・RA・衛生	(1) -ア	安全衛生管理活動が低調により食品加工用機械による巻き込まれ災害多発
			安全・RA・衛生	(1) -ア	動力伝導機構にはさまれる災害が発生した。
			安全・RA・衛生	(1) -ア	特になし
			安全・RA・衛生	(1) -ア	プレスによる災害が発生した。

対象候補事業場名簿（千葉）局

No. 3

事業場名 「業種名（中分類）」	所在地	労働者数 （概数）	区 分		診断に当たって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
予			安全・ <u>RA</u> ・衛生	(1)	金属加工用機械のはさまれ災害発生。
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	2－(2)	吸収合併により安全衛生管理体制見直し中。
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	2－(2)	特になし
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	2－(2)	特になし
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	2－(1)	木材加工用機械による巻き込まれ災害発生
			安全・RA・ <u>衛生</u>	3－(4)	有機溶剤健康診断結果報告において有所見者が1名発生した。
			安全・RA・ <u>衛生</u>	(4)	有機溶剤健康診断において有所見者数及び医師の指示人数が増加している。

別紙 1

対象候補事業場名簿(東京)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安 全	(1)-ア	断裁機 切れ
			安 全	(1)-ア	食品加工用機械 巻き込まれ
			安 全	(1)-ア	一般動力機械 はさまれ
			安 全	(1)-ア	金属加工用機械 ローラーに巻き込まれ
			安 全	(1)-ア	フライス盤 巻き込まれ
			安 全	(1)-ア	一般動力機械 巻き込まれ
			安 全	(1)-ア	ベルトコンベア 巻き込まれ
			安 全	(1)-ア	印刷機械 巻き込まれ
			安 全	(1)-ア	ロール機 巻き込まれ
			安 全	(1)-ア	プレス機械 はさまれ
			安 全	(1)-ア	印刷機械 巻き込まれ

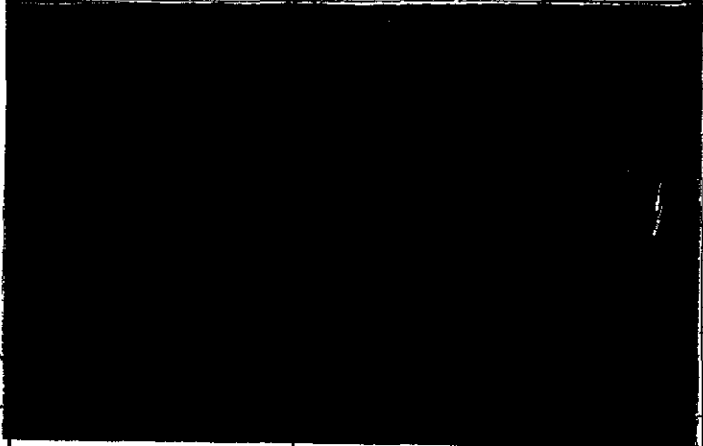
別 紙 1

対象候補事業場名簿(東京)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安 全	(1)-ア	食品加工用機械 切れ
			安 全	(1)-ア	食品加工用機械 はさまれ
			安 全	(1)-ア	一般動力機械 はさまれ
			安 全	(2)-ア	店社としての休業災害 16年中4件
			安 全	(3)	クレーン災害
			安 全	(3)	金属材料の飛散
			安 全	(3)	金属材料の落下
			安 全	(3)	木材の落下
			安 全	(3)	クレーン作業
			安 全	(4)	平成14年度安全診断対象事業場 16年災害3件
			安 全	(5)	14年以降、食品加工用機械による 災害が不休も含め多発

別紙 1

対象候補事業場名簿(東京)局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			R A	(1)	16年休業災害3件発生、 内2件は機械災害
			R A	(1)	16年休業災害3件発生、 コンベア災害が連続して発生
			R A	(1)	14年度安全管理特別指導事業場 16年プレス災害発生
			R A	(1)	平成14年以降毎年、 休業60日程度の災害が発生 事故の型 激突され、飛来・落下等
			R A	(1)	16年休業災害3件 うち移動式クレーン災害2件

③

対象候補事業場名簿 (東京) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・ <u>衛生</u>	3- (1)	平成16年9月6日染料製造工程で中毒が発生。
			安全・RA・ <u>衛生</u>	3- (4)	有機溶剤健康診断で「有所見者」が増加(金庫の裏山の塗装業務) 事業場内の階段で転倒災害が発生。
			安全・RA・ <u>衛生</u>	3- (1)	平成16年11月9日に有機溶剤中毒が発生。
			安全・RA・ <u>衛生</u>	3- (4)	有機溶剤取扱のBPA粉じん業務に設置した局所排気装置の能力が不十分。
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 神奈川 ）局

番号	事業場名 [業種名[中分類]]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断に当たって特に留意すべき事項
				安全、RA、衛生の別	該当する基準	
1				安全・RA・衛生	1-(3)	平成16年度安全管理特別指導事業場
2				安全・RA・衛生	1(1)イ	平成11年度安全管理特別指導事業場
3				安全・RA・衛生	1(1)ア	作業行動による労働災害が多いこと
4				安全・RA・衛生	1-(3)	
5				安全・RA・衛生	1-(3)	
6				安全・RA・衛生	1-(2)	
7				安全・RA・衛生	1(1)ア	
8				安全・RA・衛生	1(1)ア	
9				安全・RA・衛生	1(1)ア	平成17年度安特事業場の候補であった 機械災害が続発
10				安全・RA・衛生	1-(5)	

11
12
13
14
15
16
17
18
19

	安全・RA・衛生	1(1)ア	
	安全・RA・衛生	1-(3)	
	安全・RA・衛生	1-(5)	
	安全・RA・衛生	1(1)ア	平成16年に5件の休業災害が発生しており、そのうち機械のはさまれ災害が2件である
	安全・RA・衛生	1-(3)	
	安全・RA・衛生	1(1)ア	プラズマ切断機のローラーに巻込まれ災害あり
	安全・RA・衛生	1(1)ア 2-(1)	H16.食品加工機械による切断災害 昭和60年安特
	安全・RA・衛生	1-(3)	H16.プレスによる切断災害 H元、5、6年安特、プレスによる災害多い
	安全・RA・衛生	1-(3)	H16.食品加工機械による外国人災害2件

対象候補事業場名簿（ 神奈川 ）局

番号	事業場名 [業種名[中分類]]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断に当たって特に留意すべき事項
				安全、RA、衛生の別	該当する基準	
1				安 全 ・ RA ・ 衛 生	2-(1)	自動生産設備に対するリスクアセスメントについて苦慮していること
2				安 全 ・ RA ・ 衛 生	2-(1)	(RAとして上記事業場より優先)
3				安 全 ・ RA ・ 衛 生	2-(1)	工場内の大幅なレイアウト変更工事を実施中であること
4				安 全 ・ RA ・ 衛 生	2-(1)	安全カバー、非常停止等備えているものの、有効でないために事故が発生している状況あり、本質安全化が必要と考えられる
5				安 全 ・ RA ・ 衛 生	2-(1)	
6				安 全 ・ RA ・ 衛 生	2-(1)	

対象候補事業場名簿（ 神奈川 ）局

番号	事業場名 [業種名[中分類]]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断に当たって特に留意すべき事項
				安全、RA、衛生の別	該当する基準	
1				安 全 ・ RA ・ 衛 生	3-(1)	
2				安 全 ・ RA ・ 衛 生	3-(4)	経年的に有機溶剤等、特定化学物質の健康診断で有所見者が出ている8トリクロレエチレン、シアン化カリウム、シアン化ナトリウム)
3				安 全 ・ RA ・ 衛 生	3-(4)	

対象候補事業場名簿（新潟局）

事業場名 〔業種名（中分類）〕	所在地	労働者数 （概数）	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1－(1)－ア	成型機における災害が多発。
			安全・RA・衛生	1－(1)－ア	安全管理者など各スタッフは選任されているが、活動が薄い。現場内での各職制ごとの職務権限が明確化が必要。
			安全・RA・衛生	1－(1)－ア	フォークリフトによる災害、旋盤による巻き込まれ災害が発生。安全管理のマンネリ化が見られ、対策の必要あり。
			安全・RA・衛生	1－(1)－ア	金属加工用機械等における挟まれ巻き込まれ災害が多発。（派遣労働者の労働災害もあり対策が必要。）
			安全・RA・衛生	1－(1)－ア	プレス機械による災害等機械に挟まれ巻き込まれる災害が多発。
			安全・RA・衛生	1－(1)－ア	成型機にはさまれる災害が多発。当該機械の安全対策の必要あり。
			安全・RA・衛生	1－(1)－ア	食品加工用機械によるはさまれ巻き込まれ災害が多発。
			安全・RA・衛生	1－(1)－ア	パイプベンダーにはさまれる災害が多発。加工する材料に対応した安全措置の検討が必要。
			安全・RA・衛生	2－(1)	元請として施工する現場で地山から墜落する死亡災害発生。また、子会社で土砂崩壊による死亡災害発生。マネジメントシステムの導入を検討中で専門家による診断の必要あり。
			安全・RA・衛生	1－(4)	伐採現場における立木等の激突及びチェーン取り扱い中の「切れこすれ」災害が多い。

注1：「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

（記入例：安全診断の場合(1)－ア等）

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

（記入例：「食品加工用機械による入れこすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿（ 富 山 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1-(1)-ウ	機械装置によるはさまれ災害が多い
			安全・RA・衛生	1-(1)-ウ	印刷機で、はさまれによる死亡災害が発生
			安全・RA・衛生	1-(1)-ウ	平成16年に休業1～2ヶ月の災害が3件発生しており、安全管理体制の整備が必要である
			安全・RA・衛生	1-(1)-ウ	クレーン、鋼材による災害が発生している
			安全・RA・衛生	1-(1)-ウ	安特2年目で、特に安全診断を希望している
			安全・RA・衛生	1-(3)	平成16年に日系ブラジル人がチェーンブロック操作中に、吊り具から外れた製品に当たり休業2ヶ月の労働災害が発生している

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 富 山 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	2-(1)	高温物との接触による災害等発生
			安全・RA・衛生	2-(1)	安全管理はある程度の水準にあるものの、平成16年に死亡災害が発生し、平成17年度中にリスクアセスメントを導入する計画を立てている
			安全・RA・衛生	3-(3)	有機溶剤業務において、作業環境測定結果が第2管理区分であること
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

平成17年度労働災害防止特別安全衛生診断事業に係る対象候補事業場名簿

(石川局)

事業場名 [業種(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			☒ 安全・RA・衛生	1の(1)のイ	
			安全・ ☒ RA・衛生	2の(1)	
			安全・RA・ ☒ 衛生	3の(2)	
			☒ 安全・RA・衛生	1の(1)のイ	フォークリフトによる災害あり。危険有害業務(プレス、クレーン、アーク溶接等)について、安全対策は施されているが、継続性の確認が必要。
			☒ 安全・RA・衛生	1の(1)のイ	射出成形機(硬化性プレス)による災害あり。
			☒ 安全・RA・衛生	1の(1)のイ	昨年度の安全管理特別指導事業場であったが一定の効果は認められたものの追加指導が必要。
			☒ 安全・RA・衛生	1の(1)のア	平成13年度の安全管理特別指導事業場、はさまれ災害多い。 平成16年の災害2件

注1:「安全・労働衛生の別」の欄には、安全、RA、衛生のいずれかに○をつけること。

注2:「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3:「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例あり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (福井) 局 1/2

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	平成4年以降労働災害の発生がみられなかったが、平成16年には3件の労働災害が発生しており、行動災害が目立つ。
			安全・RA・衛生	(1)ーア	蓄積データ上ではこれまで災害が発生していなかったが、平成16年には2件の災害が発生し、内1件は機械に挟まれる重篤な災害であった。
			安全・RA・衛生	(1)ーア	以下の災害の内容。 H16・7 パレットを移動中、釘に引っかかり転倒 H16・12 台車に糸をかける作業中、台車が転倒 H17・3 絡まった糸を取り除く際機械にはさまれた
			安全・RA・衛生	(4)	有機溶剤に関する特殊健康診断において、腎機能検査の有所見者数が増加。
			安全・RA・衛生	(1)ーア	テーブルリフターの挟まれ防止対策の実施状況。
			安全・RA・衛生	(1)ーア	印刷機械のローラー清掃時の巻き込まれ対策の実施状況。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (福井) 局 2/2

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	昨年度発生した織機ローラーへの巻き込まれ災害に関する同種災害再発防止対策。
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿(山梨局)

事業場名 〔業種名(中分類)〕	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・労働衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・労働衛生	(1)ーア	金属加工用機械によるはさまれ、巻き込まれによる災害が発生している。
			安全・RA・労働衛生	(1)ーア	印刷用機械によるはさまれ、巻き込まれによる災害が発生している。
			安全・RA・労働衛生	(1)ーア	金属加工用設備によるはさまれ、巻き込まれによる災害が発生している。
			安全・RA・労働衛生	(1)ーイ	平成15年度安特指定その後、平成16年12月と平成17年5月に災害が発生している。
			安全・RA・労働衛生	(4)	平成16年10月の有機溶剤健康診断において、代謝物の分布「2」の者が5名及び有所見者が1名と診断された。
			安全・RA・労働衛生	(1)ーア	平成16年度にゴルフ場コース内ののり面で芝刈り機による災害及びプレーヤーのクラブに当たった災害が発生している。
			安全・RA・労働衛生	(1)ーイ	平成14年度の安特指定後、キャディーの転倒災害が発生している。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかの○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（長野労働）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分	
			安全・労働衛生の別	該当する基準
			安全・衛生	第1-1-(1)ア
			安全・衛生	第1-3-(2)
			安全・衛生	第1-1-(1)ア
			安全・衛生	第1-1-(3)
			安全・衛生	第1-1-(1)ア
			安全・衛生	第1-1-(1)ウ
			安全・衛生	第1-1-(1)ア
			安全・衛生	第1-1-(1)イ

注1: 「安全・労働衛生の別」の欄には、安全・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のア、イ、ウ又は(6)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の2の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

対象候補事業場名簿（長野労働）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分	
			安全・労働衛生の別	該当する基準
			安全・衛生	第1-1-(4)
[]	〒 Tel - - 人		安全・衛生	
[]	〒 Tel - - 人		安全・衛生	
[]	〒 Tel - - 人		安全・衛生	
[]	〒 Tel - - 人		安全・衛生	
[]	〒 Tel - - 人		安全・衛生	
[]	〒 Tel - - 人		安全・衛生	
[]	〒 Tel - - 人		安全・衛生	

注1: 「安全・労働衛生の別」の欄には、安全・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のア、イ、ウ又は(6)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の2の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

対象候補事業場名簿 (岐阜) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			(安全)・RA・衛生	1(1)ア	
			安全・(RA)・衛生	2(1)	
			安全・RA・(衛生)	3(1)	平成16年において、石綿による中皮癌で13名亡れている。 現在は、輸入原材料の裁断が僅かに行われている。
			(安全)・RA・衛生	1(4)	平成10年度 安全衛生診断受診。 平成16年9月に連続2件災害あり。
			(安全)・RA・衛生	1(1)ア	
			(安全)・RA・衛生	1(2)ア	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (岐阜県) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			(安全)・RA・衛生	1(1)ア	近年、労働災害が多発し一定の安全衛生管理活動は行われているが、県民からの災害防止活動の道筋を指導してほしい。
			(安全)・RA・衛生	1(1)ア	プレス作業が多く、安全対策が必要。
			(安全)・RA・衛生	1(3)	クレーン作業による事故が多発している。製品が大きく重量物の取付け・作業が多い。
			(安全)・RA・衛生	1(1)ア、イ	機械設備によるはさまれ、巻き込みの事故が多発している。作業者の安全衛生に関する意識が低く、不安全行動が多い。
			(安全)・RA・衛生	1(1)ウ	平成16年11月に ワインの 作業中に はさまれ事故(休業3ヵ月)発生。
			(安全)・RA・衛生	1(5)	リフトの点検を怠っている事が、安全衛生に対する知識がほとんどない。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（静岡）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			①安全・RA・衛生	(1)ーア	食品加工機械、転倒災害、包丁災害が、平成16年に休業1日以上が14件発生。
			①安全・RA・衛生	(1)ーア	造型機にはさまれて6月の休業発生。
			①安全・RA・衛生	(1)ーウ	スポット溶接機にはさまれて60日の休業発生。
			①安全・RA・衛生	(1)ーア	土産物等製造卸業。ここ数年、食品加工機械による災害が頻発している。昨年は、ミキサーによる巻き込まれ災害が発生。
			①安全・RA・衛生	(1)ーア	合成樹脂製品製造の加工を行う。ロール機を使用する作業が主。昨年はロール機による巻き込まれ災害が発生。
			①安全・RA・衛生	(1)ーウ	木材加工用機械によるはさまれ・巻き込まれ災害が発生している。
			①安全・RA・衛生	(1)ーウ	ロール機、木材加工用機械によるはさまれ・巻き込まれ災害が発生している。
			①安全・RA・衛生	(1)ーア	フォークリフト及び荷役作業で災害発生している。
			①安全・RA・衛生	(1)ーウ	食料品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発している。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)、のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、又、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。（記入例:安全診断の場合(1)ーア等）

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
（記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿（静岡）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
		49 人	安全・RA・衛生	(1)ーア	印刷機械によるはさまれ災害が発生している。
		112 人	安全・RA・衛生	(1)ーア	バンドソーで被災
		52 人	安全・RA・衛生	(1)ーア	平成16年に1件、平成17年には既に2件発生。
		39 人	安全・RA・衛生	(3)	造型機にはさまれて6月の休業発生。
		71 人	安全・RA・衛生	(3)	スポット溶接機にはさまれて60日の休業発生。
		14 人	安全・RA・衛生	(3)	
		45 人	安全・RA・衛生	(3)	平成15年に受診しているが、災害の減少がみられない。
		15 人	安全・RA・衛生	(3)	鑄造機械によるはさまれ災害が発生している、外国人労働者に対する安全衛生教育について留意が必要。
		32 人	安全・RA・衛生	(3)	手工具による切れによる災害が発生している、外国人労働者に対する安全衛生教育について留意が必要。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)、のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、又、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。（記入例:安全診断の場合(1)ーア等）

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。（記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿（静岡）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(3)	平成16・17年と特安指定で16年は休業4日以上3件、4日未満3件発生。
			安全・RA・衛生	(3)	穴あけ作業でバリかすをとろうとしたところ指を切った。(外国人)
			安全・RA・衛生	(4)	
			安全・RA・衛生	2-(2)	安全衛生担当者の交代に伴い安全衛生マネジメントシステムの取り組みが遅れるため。
			安全・RA・衛生	2-(1)	
			安全・RA・衛生	3-(1・3)	3年間の内2人じん肺有所見者が発生した。
			安全・RA・衛生	3-(4)	スクリーン印刷業で第二種有機溶剤を使用。既存設備の改善が望まれるが、制約等から法規上の設備を設けることが難しいとの申し出があった。
[]	〒 TEL ー ー	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 TEL ー ー	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)、のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、又、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。（記入例:安全診断の場合(1)ーア等）

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。（記入例:「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿

(安局)

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	
			安全・RA・衛生	1-(3)	
			安全・RA・衛生	1-(3)	
			安全・RA・衛生	3-(4)	
			安全・RA・衛生	1-(3)	
			安全・RA・衛生	1-(2)-ア	
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	平成16年2月と平成17年2月に同種災害の発生あり。
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	平成16年に災害発生、同社の木場工場でも災害あり。

対象候補事業場名簿

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
予			安全・RA・衛生	3-(1)	平成16年じん肺新規有所見者発生事業場だが、監督未実施。過去にも有所見者あり。
			安全 RA・衛生	1-(1)-ア	
			安全 RA・衛生	1-(1)-ア	
			安全 RA・衛生	1-(3)	
			安全 RA・衛生	1-(2)-ア	
			安全 RA・衛生	1-(1)-イ	
			安全 RA・衛生	1-(1)-ア	機械へのはさまれ災害が多発している 休業見込み30日を越える災害が多い
			安全 RA・衛生	1-(1)-ア	平成16年度安全管理特別指導事業場

対象候補事業場名簿

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全 RA・衛生	1-(3)	
			安全・RA 衛生	3-(4)	
			安全 RA・衛生	1-(1)-ア	派遣労働者を含めると50名を超える可能性があるため、安全衛生管理体制の確認が必要。
			安全 RA・衛生	1-(3)	実態派遣の可能性あり。また、10月に移転情報あり。
			安全 RA・衛生	1-(1)-ア	衛特指定2年目。指摘事項については改善されるが自主的な安全衛生活動が進まない状況であり活性化をする必要がある。
			安全 RA・衛生	1-(3)	平成16年に外国人労働者による飛来落下災害が発生、10人の外国人労働者がおり外国人労働者に対する労働災害防止に対する対策が必要。
			安全 RA・衛生	2-(2)	本年6月22日からPCBを受入れ試運転を実施しながら本格稼働に向けて準備を進めている段階であり危険有害な設備に対するリスクアセスメントによる災害発生防止対策が必要である。
			安全 RA・衛生	1-(1)-ア	旧式の機械設備が現在も使用され、その機械による災害が発生している。

対象候補事業場名簿

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全 RA・衛生	1-(1)-ア	
			安全 RA・衛生	1-(1)-ア	
			安全 RA・衛生	1-(3)	
			安全 RA・衛生	1-(1)-ア	・受け入れている派遣労働者(日本語の通じない外国人)が、破砕機に巻き込まれる災害が発生。 ・機械の詰まりを直すために機械に労働者が立ち入ったとき、ほかの労働者が機械を起動して被災。 ・災害発生以降安全管理の徹底を図ることを決定しており、場合によっては安全コンサルタントの活用も検討している。
			安全 RA・衛生	1-(1)-イ	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（三重労働）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	第1の1の(1)の ア	機械によるはさまれ・巻き込まれ災害及び切れ・こすれ災害が発生している。
			安全・RA・衛生	第1の1の(1)の ア	食品加工用機械等によるはさまれ・巻き込まれ災害及び切れこすれ災害が発生している。
			安全・RA・衛生	第1の2の(1)	リスクアセスメント実施中である。
			安全・RA・衛生	第1の1の(4)	過去3年間に於いて4件の休業4日以上の労働災害が発生しており、その災害発生状況から安全作業手順と安全教育についての指導が必要であると思料される。
			安全・RA・衛生	第1の1の(1)の イ	労働者各人の安全意識が低いと考えられ、平成16年において4件発生した労働災害のうち、3件が転倒災害である。
			安全・RA・衛生	第1の1の(3)	平成16年に2件の外国人労働者の労働災害が発生しており、外国人労働者に対する管理が不十分であると思われる。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（三重労働）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	第1の3の(2)	平成15年度に衛生管理特別指導事業場に指定され、一定の成果が得られたが、その後、後戻りが懸念される。
			安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	特に、安全管理全般、作業標準の作成に関して、一層の対策が必要であると考えられる。
			安全・RA・衛生	第1の1の(2)のア	現場の安全管理体制に関して、一層の対策が必要であると考えられる。
			安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	プレス機械による労働災害の発生があり、安全装置の不備が懸念される。
			安全・RA・衛生	第1の1の(2)のア	ドラグショベルの用途外使用時の労働災害の発生あり。
[]	〒	人	安全・RA・衛生		
	Tel - -				

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 滋賀 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			Ⓐ・RA・衛生	1-(1)-ア	動力機械による災害が多い
			Ⓐ・RA・衛生	1-(1)-ア	平成16年に災害2件、平成17年に1件発生 高齢者が被災する災害が多発している
			Ⓐ・RA・衛生	1-(1)-ア	転倒、化学物質飛散による災害等 休業災害が3件発生(平成16年)
			Ⓐ・RA・衛生	1-(2)-ア	墜落、転落災害が多い 平成16年に木材加工用機械による災害有り
			Ⓐ・RA・衛生	1-(3)	
			Ⓐ・RA・衛生	1-(5)	フォークリフト、脚立、工作機械による 休業災害が3件発生(平成16年)

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 滋賀 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1－(5)	平成16年に研削盤による災害有り
			安全・RA・衛生	1－(5)	
			安全・RA・衛生	3－(4)	・有機溶剤等特殊健診において、有所見者及び、 代謝物検査で分布2の診断が出ている ・特化物特殊健康診断において、有所見の診断 が出ている
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 京都 ）

事業場名 [業種名（中分類）]	所在地	労働者数 （概数）	区分		診断に当たって特に留意すべき事項
			安全、R A、衛生の別	該当する基準	
			安全、R A、衛生	2－（１）	将来のマネジメントシステムのモデル事業場候補。
			安全、R A、衛生	1－（５）	有機溶剤の指導も希望。
			安全、R A、衛生	1-（1）-ア	特になし。
			安全、R A、衛生	1－（４）	特になし。
			安全、R A、衛生	1-（1）-イ	特になし。
			安全、R A、衛生	1－（１）-ア	平成 17 年度安全管理特別指導事業場でもある。

対象候補事業場名簿（京都局）

事業場名 [業種名（中分類）]	所在地	労働者数 （概数）	区分		診断に当たって特に留意すべき事項
			安全、ＲＡ、衛生の別	該当する基準	
			安全、 <u>ＲＡ</u> 、衛生	２－（２）	昨年９月に苛性ソーダによる災害が発生。
			安全、ＲＡ、 <u>衛生</u>	３－（４）	特になし。
			<u>安全</u> 、ＲＡ、衛生	１－（１）－ア	特になし。
			<u>安全</u> 、ＲＡ、衛生	１－（５）	安全衛生管理体制が不十分。
			<u>安全</u> 、ＲＡ、衛生	１－（１）ウ	特になし。
[	〒		安全、ＲＡ、衛生		
]	Tel - -	人			

注１：「安全・ＲＡ・労働衛生の別」の欄には、安全・ＲＡ・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の（1）のア、イ、ウ、（2）のア、イ、ウ、（3）、（4）、（5）のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の（1）、（2）のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の（1）～（4）のいずれかを記入すること。

（記入例：安全診断の場合（1）—ア等）

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当新団員の選定に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

（記入例：「食品加工用機械による入れ・こすれ労働災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

平成17年度特別安全衛生診断事業対象事業場名簿

署名	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		担当コンサルタント 氏 名
				安全・衛生の別	該当する基準	
1 大阪中央				安全	第1の1 の(4)	
2 大阪中央				RA	第1の2 の(1)	
3 大阪中央				安全	第1の1 の(3)	
4 大阪南				安全	第1の1 の(1) のウ	
5 大阪南				RA	第1の2 の(2)	
6 天満				安全	第1の1 の(1) のア	
7 大阪西				安全	第1の1 の(1) のイ	
8 西野田				安全	第1の1 の(1) のウ	
9 淀川				安全	第1の1 の(1) のイ	
10 淀川				安全	第1の1 の(1) のイ	
11 東大阪				安全	第1の1 の(5)	
12 東大阪				RA	第1の2 の(1)	
13 岸和田				安全	第1の1 の(1) のイ	
14 岸和田				安全	第1の1 の(1) のイ	

署名	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		担当コンサルタント 氏 名
				安全・衛生の別	該当する基準	
15 堺				安全	第1の1 の(1) のウ	
16 堺				安全	第1の1 の(1) のウ	
17 羽曳野				安全	第1の1 の(1) のウ	
18 羽曳野				安全	第1の1 の(1) のウ	
19 北大阪				安全	第1の1 の(1) のア	
20 北大阪				安全	第1の1 の(3)	
21 泉大津				安全	第1の1 の(1) のイ	
22 茨木				安全	第1の1 の(1) のイ	
23 茨木				RA	第1の2 の(2)	

平成17年度特別安全衛生診断事業対象事業場名簿

署名	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		担当コンサルタント 氏 名
				安全・衛生の別	該当する基準	
1 天満				衛生	第1の3 の(4)	
2 大阪西				衛生	第1の3 の(1)	
3 西野田				衛生	第1の3 の(2)	

別紙 1

対象候補事業場名簿 兵庫労働局

事業場名 〔業種名(中分類)〕	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・R A・衛生の別	該当する基準	
			安全・R A・衛生	(1) -ア	
			安全・R A・衛生	(4)	
			安全・R A・衛生	(1) -ア	平成16年にクレーンによるはさまれ災害 (休業55日)
			安全・R A・衛生	(1) -イ	平成16年度安特指定 平成17年に休業4日以上災害8件(転倒及 び動作の反動、無理な動作の災害多発。)
			安全・R A・衛生	3 - (4)	有機溶剤健康診断において有所見あり。
			安全・R A・衛生	(2) -ア	下請事業場において平成16年死亡災害が 起きているほか、13件の災害が発生してい る。
			安全・R A・衛生	2 - (1)	平成16年、17年に4件の休業災害が発生 し、うち2件がはさまれ・巻き込まれによるも のであり、かまぼこ製造機械等のリスクアセス メントが必要。

	安全・R A・衛生	(1) -ア	
	安全・R A・衛生	2 (2)	労働安全衛生マネジメントシステムを導入計画
	安全・R A・衛生	3 (4)	
	安全・R A・衛生	(1) -ア	
	安全・R A・衛生	(1) -ア	登録区分が機械のコンサルタントを希望
	安全・R A・衛生	(1) -ア	運搬物の取り扱い作業中による災害が多発
	安全・R A・衛生	(1) -ア	産業廃棄物の取り扱い作業中による切れ、転倒災害発生
	安全・R A・衛生	(1) -ア	食品加工用機械によるはさまれ災害が多発している。
	安全・R A・衛生	1 (3)	食品加工用機械によるはさまれ災害及び切れこすれ災害が多発 (外国人労働者含む) している。
	安全・R A・衛生	2 (1)	リスクアセスメントの実施を希望している。

		安全・R A・衛生	(1) -イ	激突災害、はさまれ・巻き込まれ災害防止対策を要する。
		安全・R A・衛生	(1) -ア	木材加工用機械による災害あり。
		安全・R A・衛生	(1) -イ	
		安全・R A・衛生	(1) -イ	

注1：「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全・R A・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、R A診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例：安全診断の場合(1) -ア等)

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

診断対象事業場名簿（奈良局）

事業場名 [業種名（中分類）]	所在地	労働者数 （概数）	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1 - (1) - イ	
			安全・RA・衛生	1 - (1) - ア	
			安全・RA・衛生	1 - (1) - ア	
			安全・RA・衛生	1 - (1) - ア	
			安全・RA・衛生	3 - (4)	有機溶剤作業における有所見率が高率である。
			安全・RA・衛生	1 - (1) - ア	過去からいろいろと災害防止対策を取っているが、災害が減少しない。
			安全・RA・衛生	(1) - イ	過去、食品加工用機械による災害が2件発生している。

注意 1 : 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・労働衛生のいずれかに○をつけること。

注意 2 : 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の3の(1)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RAの場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかかを記入すること。
(記入例：安全診断の場合(1)－ア等)

注意 3 : 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

対象候補事業場名簿 (和歌山) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(1) - ア	
			安全・RA・衛生	(1) - ア	
			安全・RA・衛生	(4)	
			安全・RA・衛生	(1) - ア	
			安全・RA・衛生	(1) - ア	
			安全・RA・衛生	(1) - ウ	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1) - ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（和歌山）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (鳥取労働局)

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1(1)ア	
			安全・RA・衛生	3(2)	
			安全・RA・衛生	1(1)ア	平成16年に2件の労災事故(はさまれ・巻き込まれ、墜落・転落)が発生した。
			安全・RA・衛生	1(1)ア	平成17年に3件の労災事故(飛来・落下、はさまれ・巻き込まれ、火災)が発生した。
			安全・RA・衛生	(1)ーア (1)ーイ	平成16年災害3件発生。いずれも休業1ヶ月以上の災害であり、脚立、階段からの墜落及び通路での転倒災害である。
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (島 根) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			○安全・RA・衛生	(1) ウ	本年度、安特事業場
			○安全・RA・衛生	(2) ア	
			○安全・RA・衛生	(5)	特にナシ
			安全・RA・○衛生	(2)	平成13年度 衛特事業場
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)～ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（岡山労働）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	電気炉で発生したガスによる中毒、電気炉修繕作業における災害が発生する等、非定常作業による災害が認められる。
			安全・RA・衛生	1-(4)	平成12年に本診断を利用した事業場であるが、平成15年に交通死亡災害を発生させたほか、平成16年に墜落・転落災害5件、はさまれ災害1件、平成17年にも既に2件の労働災害を発生させている。
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	災害が多発(平成12年4月以降7件発生)しており、中でも、印刷機械によるはさまれ・巻き込まれ災害が多く発生している(3件)。
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	平成16年11月、クレーン作業により荷にはさまれ、同時に2名が負傷する災害があった。
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	平成16年12月、工作機械で部品加工の段取りの際、プログラムチェック作業中に労働災害が発生した。
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	平成16年12月、プレス機械の連続運転準備作業の際、材料送りボタンを押すところ、プレスボタンを押したため労働災害が発生した。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (岡山労働) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	プラスチック容器を製造する事業場であるが、機械等へのはさまれ・巻き込まれ災害が多い(平成15年1件、平成16年2件)。
			安全・RA・衛生	3-(4)	粉じんに係る作業環境測定結果が第3管理区分である場合が多い。設備改善の経費を必要最小限に抑えつつ、作業環境改善を図る必要がある。
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア 1-(1)-イ	
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

平成17年度労働災害防止特別安全衛生診断事業
対象候補事業場名簿（広島）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1-1-(4)	造船業の下請事業場。災害 H16 8人(飛来・落下3,転倒3,はさまれ・巻き込まれ2)、H15 7人(飛来・落下3,激突2,墜落・転落1,崩壊・倒壊1) 前回指導H14
			安全・RA・衛生	1-1-(1)ア	上記事業場の元請事業場。災害 H16 2人 墜落防止対策及び作業方法の改善、統括管理の手法等について指導の必要性あり
			安全・RA・衛生	1-3-(2)	H14年度衛生管理特別指導事業場。指定解除後の指導の際も違反があり是正指導。健康診断結果未報告(じん肺H15、有機溶剤H13以降報告なし)
			安全・RA・衛生	1-1-(1)ア	H16.2 フライス盤、切れ、休業13日 H16.1 立型旋盤、巻き込まれ、休業1ヶ月
			安全・RA・衛生	1-1-(1)イ	毎年のように災害が発生している。機械装置にはさまれ・巻き込まれる災害、転倒による骨折、熱傷災害が多く発生している。
			安全・RA・衛生	1-1-(1)ア	木工機械による災害が多発

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

平成17年度労働災害防止特別安全衛生診断事業
対象候補事業場名簿（ 広島 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			○安全・RA・衛生	1-1-(1)ア	木工機械による災害が多発
			○安全・RA・衛生	1-1-(1)ア	墜落・転落災害が多発、対策の必要あり。今年度に入り金属材料に挟まれる指の切断災害あり。
			○安全・RA・衛生	1-1-(1)ア	墜落災害、腰痛災害があり。過去において食品加工用機械による災害
			○安全・RA・衛生	1-1-(3)	外国人災害(昇降盤、切傷、休業70日) 毎年災害発生。木材加工用機械災害、機械設備にはさまれ・巻き込まれる災害。
			○安全・RA・衛生	1-1-(1)ア	H16 1件 熱傷 14日 H17 2件 食品加工機械 切れ 30日、転倒・骨折 41日
			○安全・RA・衛生	1-1-(1)ア	・毎年労働災害が発生している。 ・安全衛生教育の徹底が必要。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

平成17年度労働災害防止特別安全衛生診断事業
対象候補事業場名簿（広島）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			○安全・RA・衛生	1-1-(1)ア	平成16年に、墜落災害(2ヶ月)と丸のこ災害(3週間)が発生。
			○安全・RA・衛生	1-1-(1)ア	平成16年に、収集車にはさまれる災害(64日)とリチウム電池が破損し薬傷災害(4日)が発生。
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（山 口 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1の(1)のア	プレス機械が多数あり、また、荷役運搬機械による災害も発生している。
			安全・RA・衛生	1の(1)のア	1 安全衛生管理体制の確立 2 安全衛生管理活動の活性化 3 金属加工用機械等による災害防止
			安全・RA・衛生	3の(4)	粉じん発散源における発じん防止 継続的な健康管理
			安全・RA・衛生	1の(5)	当該事業場は工場が分散しており、本社において各工場を一括管理しているため、管理方法や管理体制等についての確認が必要
			安全・RA・衛生	2の(2)	労働安全衛生マネジメントシステムの導入を検討中。 釣系メーカーで業界シェア約20%
			安全・RA・衛生	1の(1)のア	金属機械による挟まれ災害あり。
			安全・RA・衛生	1の(1)のア	木材加工用機械による切れ等の安全対策
			安全・RA・衛生	1の(1)のア	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れこすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 徳島 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			☐ 安全・RA・衛生	第1の1の(1)のイ	機械設備の安全化
			☐ 安全・RA・衛生	第1の1の(1)のイ	機械設備の安全化
			☐ 安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	機械設備の安全化
			☐ 安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	機械設備の安全化
			☐ 安全・RA・衛生	第1の1の(1)のイ	安全作業マニュアルの整備
			☐ 安全・RA・衛生	第1の1の(1)のア	安全作業マニュアルの整備 高年齢労働者の安全対策

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 徳島 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全・RA・衛生の別	該当する基準	
			安全・ ☐ RA ☐ ・衛生	第1の1の(1)のイ	安全作業マニュアルの整備
			安全・RA・ ☐ 衛生	第1の3の(2)	労働安全衛生マネジメントシステムの確立
[]	Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（香川）局

1 / 2

事業場名 〔業種名（中分類）〕	所在地	労働者数 （概数）	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、R A、衛生の別	該当する基準	
			○ 安全・R A・衛生	(1)－ウ	転倒による災害の多発および食品加工用機械によるはさまれ・巻き込まれ災害の対策が必要。
			○ 安全・R A・衛生	(1)－ア	機械によるはさまれ・巻き込まれ災害等が多発。
			○ 安全・R A・衛生	(1)－ウ	運転作業以外の運転者の災害が多発。
			○ 安全・R A・衛生	(1)－ウ	紙加工用機械ではさまれ・巻き込まれ災害が多発。
			○ 安全・R A・衛生	(1)－ア	機械によるはさまれ・巻き込まれ災害等が多発。 安全作業マニュアルが整備されていない。

注 1：「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全・R A・衛生のいずれかに○をつけること。

注 2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第 1 の 1 の (1) のア、イ、ウ、(2) のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5) のいずれか、R A 診断の場合には、記の第 1 の 2 の (1)、(2) のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第 1 の 3 の (1)～(4) のいずれかを記入すること。

（記入例：安全診断の場合 (1)－ア等）

注 3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

（記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿（ 香 川 ） 局

2 / 2

事業場名 〔業種名（中分類）〕	所在地	労働者数 （概数）	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、R A、衛生の別	該当する基準	
			○ 安全・R A・衛生	(1)ーア	機械及び設備による災害の多発。 基本的な作業手順が遵守されていない。
			○ 安全・R A・衛生	3－1	有機溶剤の作業環境測定結果で、第3 管理区分、第2管理区分あり。 有機溶剤等健康診断結果で有所見者あり。
			○ 安全・R A・衛生	(1)ーア	食品加工用機械によるはさまれ、切れ 災害が多発。
[]	〒 Tel - -	人	安全・R A・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・R A・衛生		

注1：「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全・R A・衛生のいずれかに○をつけること。

注2：「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、R A診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

（記入例：安全診断の場合(1)ーア等）

注3：「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

（記入例：「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等）

対象候補事業場名簿 (愛媛) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	第1-1 (1)-ウ	・機械設備の安全対策について
			安全・RA・衛生	第1-1 (1)-ア	・機械設備の安全対策について ・不安全行動防止のための教育手法について
			安全・RA・衛生	(1)のア	平成17年度災多
			安全・RA・衛生	(1)ア	
			安全・RA・衛生	(1)ア	
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	
			安全・RA・衛生	記の第1の1の (1)のウ	・屋根上からの墜落災害が発生している ・安全衛生管理体制が未熟
			安全・RA・衛生	(2)	平成16年度衛特

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 高 知 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			Ⓐ・RA・衛生	(1)ウ	
			Ⓐ・RA・衛生	(1)ア	
			Ⓐ・RA・衛生	(1)ア	
			安全・RA Ⓐ	(4)	
			Ⓐ・RA・衛生	(1)ア	
			Ⓐ・RA・衛生	(1)ア	
			Ⓐ・RA・衛生	(1)ア	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (福岡 労働局)

	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に 留意すべき事項
				安全、ＲＡ、労働衛生の別	該当する基準	
福岡中央				安全	(1)ーア	近年、食品加工用機械による災害が多発。
				安全	(1)ーウ	平成17年度安全管理特別指導事業場
				安全	(1)ーウ	平成17年度安全管理特別指導事業場
				安全	(1)ーア	
				衛生	3-(1)	
大牟田				安全	(1)ーア	大型振動成形機取り扱い中災害が発生。

対象候補事業場名簿 (福岡 労働局)

	事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に 留意すべき事項
				安全、RA、労働衛生の別	該当する基準	
久留米				安全	(1)-ア	平成17年度安全管理特別指導事業場
				安全	(1)-ア	
飯塚				安全	(1)-ア	平成17年度安全管理特別指導事業場
北九州西				RA	2-(1)	5
				衛生	3-(1)	
北九州東				安全	(1)-ア	
門司支署				安全	(1)-ア	

対象候補事業場名簿 (福岡 労働局)

事 業 場 名 [業 種 名 (中 分 類)]	所 在 地	労働者数	区 分		診断にあたって特に 留意すべき事項
		(概 数)	安全、ＲＡ、労働衛生の別	該当する基準	
田 川			安全	(1)－ウ	平成17年度安全管理特別指導事業場
直 方			安全	1－(5)	
行 橋			安全	(1)－ア	
八 女			安全	(1)－ア	平成17年度安全管理特別指導事業場
福岡東			安全	(1)－ウ	平成17年度安全管理特別指導事業場
	安全	(1)－イ			

対象候補事業場名簿 (佐賀) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分	
			安全・RA・衛生の別	該当する基準
			○安全・RA・衛生	(1) - ア
			○安全・RA・衛生	(1) - ア
			○安全・RA・衛生	(1) - ア
			○安全・RA・衛生	(1) - ア
			安全・RA・○衛生	(2)
			○安全・RA・衛生	(1) イ
			安全・○RA・衛生	(2)
			○安全・RA・衛生	(1) - ア

注1 : 「安全・衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2 : 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のア、イ、ウ又は(6)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の2の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

対象候補事業場名簿（長崎）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	記第1の1の(1)のウ	
			安全・RA・衛生	記第1の1の(1)のウ	
			安全・RA・衛生	記第1の1の(1)のウ	
			安全・RA・衛生	記第1の1の(1)のウ	
			安全・RA・衛生	記第1の1の(1)のウ	
			安全・RA・衛生	記第1の1の(1)のウ	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (熊本労働) 局

その 1

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、R A、衛生の別	該当する基準	
			○安全・R A・衛生	1・1(1)イ	
			安全・○R A・衛生	1・2(2)	平成 16 年に事業場内において、後進してきた車両系建設機械に労働者が右足首を轢かれ、出血性ショックで死亡。
			○安全・R A・衛生	1・1(1)ア	平成 11 年 1 件、12 年 3 件、14 年 2 件 16 年 2 件と災害が多発。うち 3 件は荷台からの墜落による。
			安全・R A・○衛生	1・3(2)	有機溶剤、粉じん対策が必要。
			安全・○R A・衛生	1・2(2)	
			○安全・R A・衛生	1・1(1)ア	食鶏処理加工を行っている。平成 11 年 1 件、15 年 1 件、16 年 2 件と災害多発傾向にある。4 件中 2 件が食肉加工中の災害(目に飛散、指第一関節切創)。

注 1 : 「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全・R A・衛生のいずれかに○をつけること。

注 2 : 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第 1 の 1 の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、R A 診断の場合には記の第 1 の 2 の(1)、(6)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第 1 の 3 の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例：安全診断の場合(1)ーア等)

注 3 : 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (熊本労働) 局

その 2

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、R A、衛生の別	該当する基準	
			安全・R A・衛生	1・1(1)ウ	食料品加工用機械による切れ、こすれ災害が多発。
			安全・R A・衛生	1・1(1)ア	平成 13 年 11 月、14 年 1 月、16 年 1 月にそれぞれ休業見込 1 ヶ月～5 ヶ月の災害が発生している。16 年の災害は木工機械災害(右示指の切断)であった。
			安全・R A・衛生	1・1 (5)	食料品加工用機械による挟まれ災害 1 件。その他転倒、火傷災害がそれぞれ 1 件発生している。
			安全・R A・衛生	1・1(1)ア	知的又は身体の障害者が就労する福祉工場である。平成 16 年に粉碎機による左示指切創災害(休業見込 1 ヶ月)1 件、17 年にはしごからの転落(同 3 月)1 件。工場側は安全対策の基本からの指導を希望。
			安全・R A・衛生	1・2(2)	平成 15 年安全管理特別事業場として指定。16 年休業 2 ヶ月災害が発生。

注 1 : 「安全・R A・労働衛生の別」の欄には、安全・R A・衛生のいずれかに○をつけること。

注 2 : 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第 1 の 1 の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、R A 診断の場合には記の第 1 の 2 の(1)、(6)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第 1 の 3 の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例：安全診断の場合(1)ーア等)

注 3 : 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例「食品加工用機械による切れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（大分）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・ <u>RA</u> ・衛生	2-(2)	平成13年より毎年災害が発生しており、平成17年4月にフレン作業による死亡災害が発生している。
			<u>安全</u> ・RA・衛生	1-1-1)	平成10年より毎年災害が複数発生している。
			<u>安全</u> ・RA・衛生	ウ	高熱物体(鍛造品)を扱う作業であるため、火傷災害を防止するための対策やその他各種設備の安全対策についても行う必要あり。
			<u>安全</u> ・RA・衛生	1-1-ア)	平成16年災害3件発生 造船ブロックの組立作業中の事故 墜落災害や塗料引火による火傷も発生している。
			<u>安全</u> ・RA・衛生	1-1-ア)	平成16年災害4件発生
			<u>安全</u> ・RA・衛生	1-1-イ)	平成15年度安特ト指定したが、その後3件の災害を生じた。また、安全衛生管理体制の確立が不十分である。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿 (大分) 局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・ <u>衛生</u>	3-(4)	
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel - -	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿

宮崎県

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	1-(1)-ア	災害多発。 工場を新築移転し、安全衛生診断の希望あり。
			安全・RA・衛生	1-(1)-ウ	特安事業場、災害多発。
			安全・RA・衛生	1-(1)-ウ	平成17年2月14日林内作業車による横転事故発生。特安事業場、災害多発。
			安全・RA・衛生	1-(5)	平成16年12月2日かかり木処理中の災害発生。(脊髄損傷)
			安全・RA・衛生	1-(5)	平成17年3月10日洗浄機械による死亡災害発生。
			安全・RA・衛生	1-(5)	災害多発。

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)-ア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿

宮崎局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・ <u>衛生</u>	3-(3)	有害業務(有機溶剤、粉じん)に対する作業環境改善対策の必要あり。特衛事業場。
[]	〒 Tel — —	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel — —	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel — —	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel — —	人	安全・RA・衛生		
[]	〒 Tel — —	人	安全・RA・衛生		

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。

(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（鹿児島）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	(1)ーイ	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーア	
			安全・RA・衛生	(1)ーイ	
			安全・RA・衛生	(1)ーイ	
			安全・RA・衛生	(1)ーイ	
			安全・RA・衛生	(4)	

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例: 安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。
(記入例: 「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)

対象候補事業場名簿（ 沖 縄 ）局

事業場名 [業種名(中分類)]	所在地	労働者数 (概数)	区 分		診断にあたって特に留意すべき事項
			安全、RA、衛生の別	該当する基準	
			安全・RA・衛生	第1の1(5)	構内下請数社に災害が多発
			安全・RA・衛生	第1の1(1)ア	機械に起因する創傷事故等が発生
			安全・RA・衛生	第1の1(1)イ	平成16年の度数率が高い
			安全・RA・衛生	第1の1(1)ア	焼成灰等の飛散による火傷事故が発生
			安全・RA・衛生	第1の1(5)	平成15年に事故(松食い虫被害木の伐倒時等)が多発
			安全・RA・衛生	第1の2(2)	製材工場に各種機械等を多数設置し、安全化の意欲が見られる
			安全・RA・衛生	第1の3(4)	化学物質の管理が不十分であるが、改善意欲が見られる

注1: 「安全・RA・労働衛生の別」の欄には、安全・RA・衛生のいずれかに○をつけること。

注2: 「該当する基準」の欄には、安全診断の場合には、記の第1の1の(1)のア、イ、ウ、(2)のア、イ、ウ、(3)、(4)、(5)のいずれか、RA診断の場合には、記の第1の2の(1)、(2)のいずれかを、また、労働衛生診断の場合には、記の第1の3の(1)～(4)のいずれかを記入すること。
(記入例:安全診断の場合(1)ーア等)

注3: 「診断にあたって特に留意すべき事項」の欄には、担当診断員の選定等に資するため、事業場に対する診断にあたって特に留意すべき事項を記入すること。

(記入例:「食品加工用機械による入れ・こすれ災害が多発」、「集じん機ダクトで爆発事例があり、対策の必要あり」等)